

## CBAP®合格体験記

(オンライン試験：日本語)

NTT コムウェア株式会社

今井 信幸

受験日：2020年3月13日

### ● はじめに

私は、システム開発の上流フェーズで活用する要求開発・要求定義手法を整備し社内へ展開することを主な業務としています。この社内展開している手法に *Business Analysis Body of Knowledge®* (*BABOK®*) を取り入れられないかと考えたことが *BABOK®* を学び始めたきっかけです。*BABOK®* を学んでいく中で自身のビジネスアナリシス業務経験の棚卸しと知識定着の意味も兼ねて CBAP® の受験を決めました。

### ● 受験対策

対策開始からおおよそ2か月で受験し、平均すると1日当たり1~1.5時間程度使い *BABOK®* の理解を深めました。主な対策と学習のポイントは以下の通りです。

#### ① CBAP®対策講座受講

私は、(株)KB マネジメントの CBAP®対策講座を受講しました。講座では *BABOK®* の要点や勘所をわかりやすく説明頂け、また模擬試験問題も豊富に用意されており、自学する際にも大変役立ちました。試験本番までは、模擬試験問題を解き、理解が曖昧な箇所について *BABOK®* で確認することで理解を深めました。最終的には、正解率が9割以上になるまで繰り返しました。

#### ② スマホアプリの活用

CCBA®/CBAP®の模擬試験アプリを活用しました。通勤時間に実施することで時間の有効活用にもなりました。このアプリは英語となりますが、用語やタスクのインプット、アウトプットを覚える際に役立ったと思います。こちらも9割以上の正解率になるまで繰り返しました。

#### ③ IIBA®日本支部 *BABOK®*勉強会

IIBA®日本支部が主催する *BABOK®*勉強会に参加する機会を頂きました。*BABOK®* の概要、コンセプトといった基本的な部分の理解に役立ちました。

#### ④ 学習のポイント

BABOK®の情報は膨大ですが、少なくとも以下のポイントは確実に押さえておくことが必要だと考えます。これらのポイントは、自分なりにモデル化やフローを作成し理解に努めました。

- ✓ 知識エリアの関係性
- ✓ タスク間の関連、流れ
- ✓ タスクの要素、インプット、アウトプット

BABOK®には類似したタスクもあるため、混同を防ぐためにもタスクの要素については精読し確実に理解しておくことをお勧めします。

### ● CBAP®受験出願（受験資格審査・テスト申込）

CBAP®取得には受験資格審査合格とテスト合格が必要となります。

#### ① 受験資格審査

- ✓ Professional Development (PD：専門能力開発) の登録  
受験申請に必要な PD の登録を行います。

- ✓ 業務経験の登録

KB マネジメントの CBAP®対策講座受講後に頂いた業務棚卸用 Excel ファイルを利用し業務経験を整理しました。Excel でまとめたものをコピー&ペーストしていけば申請が完了できたのでとても役立ちました。

- ✓ 推薦人

受験資格審査申請時には2人の推薦人が必要です。私の場合、直属上司と社内のCBAP®保有者の方に推薦人となって頂きました。

#### ② テスト申込

受験資格審査を合格すると PSI (テスト運用会社) のサイトからテスト申込が行えます。日本語試験の場合、手順が通常と異なります。詳細を知りたい方は、IIBA®日本支部主催 CBAP®試験説明会に参加されるのが良いと思います。また、受験会場は、自宅から受験できるオンラインと PSI のテストセンターを選べますが、私は自宅でのオンライン受験を選択しました。ただ、受験当日にトラブルも発生したので、可能ならテストセンターでの受験をお勧めします。その理由については、「受験当日の流れ」の章に記載します。

## ● 受験当日の流れ

- ① PSI のサイトでテスト専用のセキュア・ブラウザをダウンロードし、インストール後に起動します。
- ② 本人確認ドキュメント、本人の顔、部屋の様子を撮影し、アップロードします。
- ③ リモート監督官（言語は英語となります）が割当てられます。
- ④ リモート監督官から注意事項と確認事項についてチャット（英語）で送られてきます。質問がないか確認された後、試験開始です。
- ⑤ 試験時間は 210 分（途中休憩を 15 分とることが可能）です。Web カメラで常時監視されています。テスト中カメラ位置の修正などチャット（英語）で指示がきました。
- ⑥ 解答の提出を行うと試験結果が表示されます。また、PSI から試験結果がメール通知されてきます。PSI とは別に IIBA®からも通知が届きます。

## ※テストセンターでの受験を勧める理由

私はあまり考えずにオンライン受験を選択しましたが、いくつかトラブルが発生しました。テストセンターで受験すれば、私が経験したトラブルは避けられると思います。

### ➤ テスト開始前のトラブル

テスト開始前行われるリモート監督官の割当て時に画面が固まり先に進めることができませんでした。サポートの指示に従いながら、何度か再起動やキャッシュのクリアを行いテスト開始できる状態に進むことができました。

### ➤ テスト中のトラブル

端末とセキュア・ブラウザの相性なのか、テスト画面が縦横に小刻みに揺れたり文字がぼやけたりと、問題や選択肢を読むことが難しい状況が最後まで続きました。

### ➤ テスト終了後のトラブル

画面が揺れていることに加えて結果画面の文字が小さくぼやけていることもあり、画面では結果を確認できませんでした。少し時間がかかったと思いますが、試験結果はメールで配信されてきますので、そちらで確認できました。

## ● 今後受験される方へのアドバイス

私の場合、前半が事例問題、後半は単純な知識問題が多く出題されました。事例問題は、模擬試験のものと比較すると長めの文章題でしたが、落ち着て読めば学習してきた内容で十分対応可能でした。また今までの業務経験で解くことができる問題も多々ありましたので、焦らず落ち着いて問題を解きましょう。

トラブルもあり解き終わったのは終了ギリギリ 3 分前となりましたが、何とか合格できました。みなさんの受験ではトラブルがないことをお祈りいたします。